

③ 22年度予算

予算審議が始まっています。今回の予算で注目すべきことは、市民税の大幅減でしょう。個人市民税が95億5952万、法人市民税が10億1972万と激減し、合わせて105億7924万円。(19年度は約125億)それに対して固定資産税は94億7951万、都市計画税が13億5450万で合わせると108億3401万となります。固定資産税と都市計画税の合計が市民税を上回るという予算になっているのです。市民の収入は激減しているのに、税金だけは上がっていく。そういう構図になってきました。みんなの収入が減ってきたのだから、無理はしないでゆっくりとみんなの収入が減ってきたのだから、税金は下げようというのが普通感覚です。飢饉だから年貢を上げようという感覚はおかしい。緊急性のない道路や箱物は今、造るべきではないのです。

③ 市長施政方針

須田市長は施政方針の中で「住んでよし 訪れてよしのふるさと新座」と言っています。その通りなのです。まず「住んでよし」なのです。それには市民が安心して学べる「学校」や「公民館」が整備されていることが必要です。安心して遊べる「公園」や「スポーツ施設」が充実していることが大事です。安心して働ける「保育園」や「学童保育室」が存在することが最低条件なのです。ところが新座市はこの分野が特に弱い。嘗ての「教育新座」は影をひそめ、先生達は疲れきっています。教育現場に余裕がないのに、駐車料金を取るのですからたまいません。他市へ異動したくなる気持ちも分かります。公民館・コミセンの有料化で市民の学ぶ環境が確保されなくなりました。公園やスポーツ施設の状態は市民のみなさんが感じる通りです。そして、今一番必要なのが保育園でしょう。国の方針も間違っていると思いますが、公立の保育園を作らない市長の方針には疑問を感じます。働きたくても働けない人たちが沢山います。大規模学童保育室の解消に消極的なことも問題です。国や県の基準に従わないということは保育の質の低下を意味します。住んでよしという意味は、安心して住めるという意味です。「観光」より先にやることが沢山あるのです。

③ 4億4500万

今年は観光都市づくり事業に4億4500万の予算を組んでいます。観光都市づくりをして、税収の伸びる豊かなまちにする」と市長は言いますが、観光都市づくりに税金を注ぎ込んで、税収が伸びるといっては新座には永久に当てはまらないでしょう。

③ 埼玉県の借金の話

埼玉県の借金が3.5兆円になりました。埼玉県は税収で県の職員が賄えないところまで来ています。お金がないから、県道に市の負担を求めていく。都道は100%東京都が負担しますが、県道の5分の1は市が負担することになっているのです。しかも、保谷・朝霞線の場合、今までの県道は市に払い下げ(膨大な維持補修費は新座市が持つこと)道場部分は全額新座市負担(県道を市が造るんですよ! 20億もかけて!)という条件を突きつけました。(それを飲む須田市長もおかしい!)県議会はそうなるまでいったい何をやっていたのでしょ。新座市は埼玉県のようになってはいけません。そういう市長の提出議案に100%賛成している議員が多すぎると(自民・公明・民主系で合計19名)危険です。

たかやんのプロフィール

本名たかむらともや。東京都新宿区生まれ。新宿区立西戸山中学、都立石神井高校を経て北海道大学へ。1977年から教師として五中・六中・二中で21年間を過ごし98年退職。どの政党にも、どの会派にも属せず一人会派「語る会」で、しがらみのない発言を続けている。新堀・石神「たかやん塾」塾長。障がい者支援団体「よこ糸をつむぐ会」メンバー。黒目川川づくり懇談会代表。石神3丁目在住。趣味はテニス。五中・六中の男女硬式テニス部を率いて、県大会は50回以上、関東大会5回、全国大会2回優勝。同時に学級通信「一生懸命」を20年間発行し続ける。議員日記は6年間毎日更新中。ご感想・ご意見・ご提案をお待ちしています。 たかやん



たかやんの連絡先

自宅 042-456-8869

携帯 090-6497-5737

mail: takayanchan@jcom.home.ne.jp

〒352-0033 新座市石神3-19-32-106